

多彩な執筆陣による多角的な構成！
生態から利用までを網羅した、初の海藻読本！

緑 水産学叢書
第2弾！

21世紀の海藻資源

—生態機構と利用の可能性—

大野正夫 編著

●A5判 280頁 ●定価：本体3,689円(税別)

「豊かな海」の立役者であるばかりでなく、次世代の素材として、いま産業界の最も熱い注目を集める海藻資源。健康、環境への関心の高まる中、「海藻についての一般書」との声に応え、遂に初の海藻読本が登場！

生態、環境、健康、化学、工学、医療等の研究者が最新研究成果を分かりやすく解説。今まであまり光の当たらなかった多方面にわたる海藻の利用法を探る。海藻生産者、漁場造成・水圏環境保全関係者、応用化学・食品メーカー必読の書！



内容

藻場(寺脇利信)／流れ藻と寄り藻(新井章吾)／磯焼け(藤田大介)／国際化する海藻資源(大野正夫)／海藻と健康・栄養(辻 啓介)／伝統的食品の寒天と新しい素材のカラギナン(平瀬 進・大野正夫)／海藻パルプとアルギン酸繊維の“紙”(小林良生)／カンキツ類の生産と海藻資源(白石雅也)／飼料に利用される海藻(中川平介)／磯の香りと性フェロモン(梶原忠彦)／海藻から抽出されるレクチン—細胞を見分けるたんぱく質—(堀 貫治)／海藻から抗酸化性物質の生産(浪岡日左雄・松家伸吾)／海藻から抗菌性成分の探索(越智雅光)／海藻からの抗癌活性物質(山本一郎・丸山弘子)

図鑑 海藻の生態と藻礁

徳田 廣・川嶋昭二・大野正夫・小河久朗 編

●B5判 198頁 ●定価：本体14,369円(税別)

本書は、天然の海で海藻がどのような姿で生えているのかをつぶさに見てとることの出来る海藻生態図鑑であると同時に、人為的に投入した藻礁に如何にして海藻を生やすか、を紹介した世界に例のない図鑑でもある。藻場造成にかかわる方々はもちろんのこと、海洋環境の保全に意欲と関心をお持ちの一般の方々にも、本書は幅広く受け入れられるであろう。

英文版も
完成！

—A Photographic Guide—
Seaweeds of Japan

●定価：本体14,563円(税別)

海藻資源養殖学

徳田 廣・大野正夫・小河久朗 編

●B5判 354頁 ●定価：本体5,505円(税別)

海藻の資源や養殖から、藻場造成、利用法、海外での養殖等に至るまで、実に幅広い観点から初めて総括的に海藻を論じた、研究者・学生・養殖業者待望の書！！

内容

地球生態系と海藻／海藻の生育環境／海藻の利用／世界の海藻資源と生産量／現在の海藻養殖／藻場造成／海外の海藻養殖の現状／海藻養殖の将来と展望／むすび

■消費税は別途加算されます。

緑書房

〒171 東京都豊島区池袋2-14-4 池袋西口スカイビル8F

TEL 03(3590)4441(販売部) FAX 03(3590)4446

今春刊行

「日本海藻誌」以来60余年ぶりの大著、遂に刊行成る！

新日本海藻誌

— 日本産海藻類総覧 —

吉田 忠生 著

B5判・予定総頁1200頁・予定本体価格46000円

本書は古典的になった岡村金太郎の歴史的大著「日本海藻誌」(1936)を全面的に書き直したものである。「日本海藻誌」刊行以後の約60年間の研究の進歩を要約し、1997年までの知見を盛り込んで、日本産として報告のある海藻(緑藻、褐藻、紅藻)約1400種について、形態的な特徴を現代の言葉で記載する。

編集にあたっては、各種類の学名を原典にさかのぼって検討し、国際植物命名規約に厳密に従って命名法上の正確さを期し、関連する文献を詳しく引用。また、命名規約に基づいて、多くの種のタイプ標本を確定し、その所在を明らかにするとともに、北海道大学、国立科学博物館などに所蔵されているタイプ標本の写真を多数掲載した。

植物学・水産学の専門家のみならず、広く関係各方面に必携の書。

現在の藻類を理解するために最適の書

藻類多様性の生物学

千原 光雄 編著

B5判・400頁・本体価格9000円

分担執筆

石田健一郎・出井 雅彦・井上 勲・恵良田眞由美・加藤 季夫・田中 次郎
原 慶明・堀 輝三・堀口 健雄・前川 行幸・真山 茂樹・吉崎 誠

第1章 総論 第2章 藍色植物門 第3章 原核緑色植物門 第4章 灰色植物門 第5章 紅色植物門 第6章 ク
リプト植物門 第7章 渦鞭毛植物門 第8章 不等毛植物門 第9章 ハプト植物門 第10章 ユーグレナ植物門
第11章 クロラクニオン植物門 第12章 緑色植物門 第13章 緑色植物の新しい分類

藻類の生活史集成

堀 輝三 編

第1巻 緑色藻類 B5・448p (185種) 8000円
第2巻 褐藻・紅藻類 B5・424p (171種) 8000円
第3巻 単細胞性・鞭毛藻類 B5・400p (146種) 7000円

淡水藻類写真集

山岸高旺・秋山 優 編集

B5・216p・ルーズリーフ式

1種1シートを原則に、藻体像の顕微鏡写真・部分拡大写真に、走査型
電顕写真・線画き詳細図を添えて、分類学的形質が一目でわかるよう
に構成する。最新19巻発行。

既刊 1・2巻4000円、3~10巻5000円、11~19巻7000円。

陸上植物の起源

渡邊 信 共訳
堀 輝三

— 緑藻から緑色植物へ —

A5・376p・4800円

最初に海で生まれた現生植物の祖先は、どのような進化をたどって
陸上に進出したのか——分子生物学、生化学、発生学、形態学な
どの成果にもとづく探求の書。海藻のような海産藻類からでなく、
淡水域に生息した緑藻、特にシャジクモ類から派生したという推論
をたて、陸上植物の出現した約五億年前の地球環境、DNAの構造、
シャジクモ類の形態・生態・生理などを総合的に考察する。

日本淡水藻図鑑

廣瀬弘幸・山岸高旺 編集

B5・960p・38000円

図鑑としての特性を最高度に発揮さす為に図版は必ず左頁に、図版
の説明は必ず右頁に組まれ、常に図と説明とが同時にみられるよう
に工夫。また随所に総括的な解説や検索表を配し読者の便宜を図る。

日本の赤潮生物

福代・高野 共編
千原・松岡

— 写真と解説 —

B5・430p・13000円

日本近海および日本の淡水域に出現する200種の赤潮生物を収録。赤
潮生物の分類・同定に有効な一冊。

原生生物の世界

丸山 晃 著
丸山雪江 絵

細菌、藻類、菌類と原生動物の分類 B5・440p・28000円

原生生物、すなわち細菌、藻類、菌類と原生動物の分類という壮大な
世界を緻密な点描画とともに一巻に収めた類例のない書。

藻類の生態

秋山・有賀 共編 A5・640p・12800円
坂本・横浜

日本海藻誌

岡村金太郎 著 B5・1000p・30000円

表示の価格は本体価格ですので、別途消費税が加算されます。

〒112-0012 東京都文京区大塚3-34-3 内田老鶴園
TEL 03-3945-6781 FAX 03-3945-6782

学 会 出 版 物

下記の出版物をご希望の方に頒布いたしますので、学会事務局までお申し込み下さい。(価格は送料を含む)

1. 「藻類」バックナンバー 価格、会員各号 1,750 円、非会員 3,000 円、30 巻号 (創立 30 周年記念増大号、1-30 巻索引付き) のみ会員 5,000 円、非会員 7,000 円、欠号 1-2 巻、4 巻 1,3 号、5 巻 1,2 号、6-9 巻全号。
「藻類」バックナンバーの特別セット販売に関しては本誌記事をご覧ください。
2. 「藻類」索引 1-10 巻、価格 会員 1,500 円、非会員 2,000 円、11-20 巻、会員 2,000 円、非会員 3,000 円、創立 30 周年記念「藻類」索引、1-30 巻、会員 3,000 円、非会員 4,000 円。
3. 山田幸男先生追悼号 藻類 25 巻増補. 1977. A5 版, xxviii+418 頁。山田先生の遺影、経歴・業績一覧・追悼文及び内外の藻類学者より寄稿された論文 50 編 (英文 26, 和文 24) を掲載、価格 7,000 円。
4. 日米科学セミナー記録 Contributions to the systematics of the benthic marine algae of the North Pacific. I. A. Abbott・黒木宗尚共編. 1972. B5 版. xiv+280 頁, 6 図版. 昭和 46 年 8 月に札幌で行われた北太平洋産海藻に関する日米科学セミナーの記録で、20 編の研究報告 (英文) を掲載。価格 4,000 円。
5. 北海道周辺のコンブ類と最近の増養殖学的研究 1977. B5 版, 65 頁。昭和 49 年 9 月に札幌で行われた日本藻類学会主催「コンブに関する講演会」の記録。4 論文と討論の要旨。価格 1,000 円。

1998 年 3 月 5 日印刷

1998 年 3 月 10 日発行

© 1998 Japanese Society of Phycology

日 本 藻 類 学 会

禁 転 載
不 許 複 製

Printed by Hokudai Insatsu

編集兼発行者

堀 口 健 雄

〒060-0810 札幌市北区北 10 条西 8 丁目

北海道大学大学院理学研究科

Tel. 011-706-2738

Fax. 011-746-1512

email. horig@bio.hokudai.ac.jp

印刷所

北 大 印 刷

〒060-0810 札幌市北区北 8 条西 7 丁目

Tel. 011-747-8886

Fax. 011-747-8807

発行所

日 本 藻 類 学 会

〒184-8501 東京都小金井市貫井北町 4-1-1

東京学芸大学生物学教室内

Tel. 0423-29-7524 (Fax 兼用)

藻類

The Japanese Journal of Phycology (Sôruï)

第46巻 第1号 1998年3月10日

目次

関山繁信・松本正喜・川嶋之雄・栗原知明・西尾四良・澤田貴義：陸上実験水槽におけるカジメの生態学的研究 I. 幼胞子体の生長と成熟	1
研究技術紹介	
本村泰三・菱沼 佑・有賀博文：顕微蛍光測光装置，並びにプロモデオキシウリジン及びその抗体を用いた海藻類の細胞周期の解析方法	11
秋季シンポジウム要旨	
舘脇正和：藻食のすすめ～海からの健康～「藻食論」	17
野田宏行：海藻の薬理効果	21
横濱康継：海藻の森とそのはたらき	23
藻類採集地案内	
大谷修司：宍道湖・中海周辺採集地案内	27
博物館と藻類	
工藤光子：「藻－食べて，食べて，食べて... 細胞の進化へのチャレンジ展」－JT生命誌研究館の場合－	31
小川義和：「海藻の色を探る教育活動」－国立科学博物館の場合－	33
竹中裕行・陳学潜：陸生藻髮菜 <i>Nostoc flagelliforme</i> (藍藻) の生育観察と食用としての機能性	37
吉田忠生：学名の正当な発表と登録制度	41
石丸八寿子：藻類談話会に参加して	42
海外藻類事情	
スチュアート・D・シム：南アフリカ藻類事情	43
英文誌 <i>Phycological Research</i> 45巻3・4号掲載論文和文要旨	46
宮地和幸・野呂忠秀・新村 巖：田中 剛先生の御逝去を悼む	51
学会・シンポジウム情報	55
書評・新刊紹介	
大野正夫：有用海藻のバイオテクノロジー (能登谷 正浩編)	58
小亀一弘：Taxonomy of Economic Seaweeds, with reference to some Pacific species. Volume VI. (I.A. Abbott 編)	58
田中次郎：自然史学会連合ニュース	59
学会録事	61
日本藻類学会第22回大会 (下田) プログラム	65